

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●天皇賞(春)はテーオーロイヤルがG I 初制覇

4月28日(日)に行われた天皇賞(春)(G I)ではテーオーロイヤル(牡6歳/栗東・岡田稲男厩舎)が優勝、G I 初制覇を果たしました。岡田稲男調教師、鞍上を務めた菱田裕二騎手にとってもJRA G I 初勝利となります。

●丹内祐次騎手がJRA通算500勝を達成

4月27日(土)の1回新潟1日・第5レースではマイネルオーシャンが1着となり、同馬に騎乗した丹内祐次騎手(美浦・フリー)は、現役33人目となるJRA通算500勝(1万984戦目)を達成しました。

●T.オシエ騎手がJRA初勝利をあげる

4月27日(土)の2回東京3日・第8レースではジャミーレが1着となり、同馬に騎乗したタイグ・オシエ騎手(アラブ首長国連邦)は、JRA初勝利(6戦目)をあげました。

●奥村武調教師がJRA通算200勝を達成

4月27日(土)の2回東京3日・第10レースとして行われた府中市市制施行70周年記念ではマイネルケレリウスが1着となり、同馬を管理する奥村武調教師(美浦)は、現役103人目となるJRA通算200勝(延べ2392頭目)を達成しました。

●競馬関係者2名に勲章授与

令和6年春の叙勲において、元調教師・元日本調教師会会長の橋田満氏が「旭日小綬章」を受章することとなりました。また令和6年春の外国人叙勲において、国際競馬統括機関連盟会長などを務めるウインフリート・エンゲルブレヒト＝プレスゲス氏(ドイツ)が「旭日中綬章」を受章することとなりました。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●かしわ記念(船橋)は伏兵シャマルの逃げ切り勝ち

かしわ記念(Jpn I、5月1日、船橋、1600m)は、逃げた6番人気のシャマル(川須栄彦騎手、牡6歳、父スマートファルコン)がタガノビューティーに2馬身半差を付けて完勝。3番人気のペプチドナイルが3着、1番人気のキングズソードは4着、2番人気のウリアムパローズは6着、クラウンプライドは12着に敗れています。

●エートラックスが兵庫チャンピオンシップ(園田)で人気に応える

昨年までの1870mから短縮された兵庫チャンピオンシップ(Jpn II、3歳、4月29日、園田、1400m)は、先手を取った1番人気のエートラックス(ジョアン・モレイラ騎手＝ブラジル、牡、父ニューイヤーズデイ)がチカッパを3馬身引き離して楽勝。JRA勢では最も人気のなかったモズミギカタアガリが3着に入り、2番人気のイーグルノワールは4着、3番人気のエコロガイアは8着でした。

●名古屋グランプリにディクテオン、ノットゥルノらが参戦

施行時期が従来の12月から変更になった名古屋グランプリ(Jpn II、5月6日、名古屋、2100m)は、昨年12月のこのレースの覇者ディクテオンが中心、以下ノットゥルノ、キリンジ、レッドファーク、エクセスリターンまでが争覇圏内と考えられます。

●注目は無敗馬オーサムリザルト、5月8日のエンプレス杯(川崎)

2～3月実施から移動したエンプレス杯(Jpn II、5月8日、川崎、2100m)は、重賞初挑戦、初の地方遠征、初ナイターと初物づくしながら、デビュー以来5連勝中のオーサムリザルトに注目が集まり、牝馬重賞路線の実績馬アイコンテラー、グランプリッジ、アートルアストレア、ライオットガールがこれに立ちはだかります。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●香港チャンピオンズデー～地元香港勢が3つのG 1を全て制覇

現地4月28日に香港のシャティン競馬場で香港チャンピオンズデーが行われ、地元香港調教馬が3つ組まれたG 1を全て制しました。まずG 1 チェアマンズスプリントプライズ(3歳上、芝1200m)を制したのはインビンスブルセージ(騾4歳、父スロナム、D. ホール厩舎)。H. ボウマン騎手とのコンビで4番手追走から直線で抜け出してG 1 初制覇を果たしました。2頭が参戦した日本調教馬はサンライズロナウドの10着が最先着でした。この2レース後に行われたG 1 チャンピオンズマイル(3歳上、芝1600m)は、ビューティーエターナル(騾5歳、父スタースパングルドバナー、J. サイズ厩舎)がZ. パートン騎手とのコンビで逃げ切ってこちらもG 1 初制覇。3頭出走の日本調教馬はエルトンパローズの8着が最高着順でした。そしてこの日のメインレースであるG 1 クイーンエリザベスII世C(3歳上、芝2000m)に優勝したのはロマンチックウォリアー(騾6歳、父アクラメーション、C. シヤム厩舎)。J. マクドナルド騎手を背に中団待機から直線で末脚を伸ばして、日本のプログノースにクビ差をつけて優勝。史上初となるこのレース3連覇の快挙を成し遂げました。